

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道191号（山陰自動車道） みすみ ながと 三隅・長門道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県長門市深川湯本 至：山口県長門市三隅中	延長	10.0 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道191号は山口県下関市から萩市、島根県益田市を経由し広島県広島市に至る延長約291kmの主要幹線道路である。</p> <p>三隅・長門道路は一般国道191号の長門市深川湯本～長門市三隅中に至る延長10.0kmの道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>一般国道191号三隅・長門道路は、災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保、安心・安全で快適な走行環境の確保、物流効率化による地域産業の活性化、広域化周遊観光の拡大、救急医療活動の支援等に寄与するものである。</p>					
全体事業費	約590億円		計画交通量	10,100～12,000台/日	
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

令和5年2月28日付け国道評第55号により意見照会のありました「一般国道191号山陰自動車道三隅・長門道路」を予算化することについて同意します。

当該道路は、死傷事故率が全国平均を上回る箇所や、土砂災害や洪水に対し脆弱な箇所があるなど、平行する現道の課題を解消するとともに、山陰道の一部区間として、地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興等を図るため、また、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築するためにも、その早期整備が不可欠です。

山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元長門市と連携して、関係者との調整や用地取得、建設発生土の処分への協力など、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるとともに、土砂災害警戒区域内の砂防堰堤の整備や、接続交差点の県道改修、国道191号へアクセスする市道整備や農道の機能復旧など、地域の利便性の向上や、災害に強い道路ネットワークの構築に繋がるよう周辺の整備にも取り組んでまいります。

さらには、島根県や沿線市町と一体となって、山陰道整備後を見越した広域的な観光や産業の振興を推進してまいります。

国においては、山陰道全線の早期完成に向け、今後とも、事業中区間の整備促進や、未着手区間の早期事業化を図られるよう、お願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

費用便益：便益が費用を上回っている。

手続き等：計画段階評価手続き完了（R4.7.27）、都市計画決定手続き完了（R5.2.28）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.3 (0.5)	総費用：8,469億円 （事業費：7,685億円 維持管理費：780億円 更新費：4.9億円）	総便益：10,996億円 （走行時間短縮便益：8,893億円 走行経費減少便益：1,668億円 交通事故減少便益：435億円）	基準年 令和4年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.1 (交通量 -10%)	B/C= 1.5 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C= 1.3 (事業費 +10%)	B/C= 1.3 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C= 1.3 (事業期間 +20%)	B/C= 1.3 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。		
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 市街地エリアや交差点部などにおいて、死傷事故率が全国平均を上回る箇所が連続して存在。 当該区間の整備により、混在していた生活交通と通過交通が分離され、安全で円滑な走行環境が形成される。 【死傷事故率全国平均以上箇所】 現況：14箇所 → 整備後：0箇所（全箇所回避） 		
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> 長門市では、救急搬送人員の約9割を市内中心部に立地する救急告示医療機関で受け入れているが、市内中心部周辺は交差点が多く、一定の速度で走行できないなど安静搬送の面で課題。 当該区間の整備により、救急搬送時の走行性が向上する。 【俵山地区（出張所）～長門総合病院における信号交差点数】 現況：13箇所 → 整備後：4箇所（9箇所回避） 		
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> 山口県のかまぼこ類生産量は全国第4位で、長門市は多くのかまぼこ工場が立地する生産拠点である。長門市で製造されるかまぼこは、毎日、主に陸路で全国に向けて出荷されているが、納期厳守のため、定時性が重視されている。規制等による遅延は取引先からの信頼低下等、企業活動の支障となる。 当該区間の整備により九州方面への輸送時間の短縮や時間信頼性の向上により、企業活動を支援。 【下関市～仙崎漁港までの所要時間】 現況：83分 → 整備後：67分（16分短縮） 		
		災害	◎	<ul style="list-style-type: none"> 並行する現道区間には、土砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在するなど、防災上脆弱な箇所が集中している。緊急輸送道路に指定される国道191号や国道316号で通行止めが発生した場合、救命・救急活動や緊急活動に支障をきたすことが懸念される。 現道の代替路として機能する道路が整備され、災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回を解消。 【長門市役所～湯本地区の迂回時の所要時間（災害時）】 現況：48分 → 整備後：13分（35分短縮） 		
		環境	-	注目すべき影響はない。		
地域社会		◎	<ul style="list-style-type: none"> 山口県北部には、優れた観光資源が多数存在し、長門市・萩市は年間100万人近い県外観光客が来訪している。高速道路がネットワークしていないため、九州方面からの観光客が県北部まで周遊しておらず広域的な観光周遊に課題がある。 当該道路が整備されることで、移動時間の短縮により、広域周遊観光の拡大を支援。 【下関市～長門市の観光拠点（仙崎）までの所要時間】 現況：83分 → 整備後：67分（16分短縮） 			
事業実施環境	○	山口県知事等より早期事業化を要望				

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の整備により、災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保、安心・安全で快適な走行環境の確保、物流効率化による地域産業の活性化、広域化周遊観光の拡大、救急医療活動の支援が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※B/Cの上段の値は浜田JCT～小月JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
災害等による通行止め時に機能する道路ネットワークの確保や高次救急医療機関への速達性や確実性の向上、観光拠点間のアクセス向上による広域周遊観光の拡大などの観光振興に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、市街地部と山地部などを通過しており、市街地部周辺では洪水浸水想定区域が存在し、山地部では防災点検要対策箇所（1箇所）や土砂災害警戒区域が存在するなど、脆弱な区間となっている。 災害等による通行止め時には大幅な迂回を強いられるため、地域への緊急物資の円滑な輸送に支障となる恐れ。 	※中国圏広域地方計画（H28.3） ・大規模地震災害に対し、圏域内の道路・橋りょうや港湾施設等の社会資本の耐震化を強力に進め、強靱な交通・物流ルートを形成する。 ※山口県国土強靱化地域計画（R2.3改訂） ・災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、地域の課題や利用者ニーズを踏まえながら、山陰道や下関北九州道路など、規格の高い道路をはじめとした幹線道路や、身近な生活道路の整備を推進する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 長門市の救急搬送人員の約9割は、市内中心部に立地する救急告示医療機関に搬送されており、救急搬送時における速達性や確実性の向上、安静な搬送の確保が必要。 	※中国圏広域地方計画（H28.3） ・高次医療施設へのアクセス向上に資する道路の整備を図るとともに、ドクターヘリの導入による救急対応等、広域連携による医療機能の充実を図る。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 下関市、長門市、美祢市、萩市及び各観光協会の連携による山口県西部地区の観光事業の振興に取り組んでいる。 長門市や萩市には、歴史文化資源や自然豊かな観光資源など優れた観光地が多く存在しているが、下関市などとの都市間（観光地間）に速達性のある道路ネットワークが整備されていないため、観光客の周遊範囲は拡大していない状況。 	※中国圏広域地方計画（H28.3） ・山陰道や小郡萩道路といった高規格幹線道路等の道路ネットワーク、旅客船・フェリー等の航路等、広域観光を支える交通ネットワークの活用・強化を図る。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 浜田JCT～小月JCTの整備により、主要拠点間のリンクの評価はCランクのままであるものの、脆弱度、累積脆弱度の値は改善される。 また、三隅・長門道路のみの整備の場合、防災機能評価はDランクからBランクに向上する。 更に、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されるとともに、救急医療活動や観光振興、経済活動の活性化に寄与するなど有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	山口県庁	長門土木建築事務所	25 (5)	0.92 (C) 〔1.00〕 (D)	0.35 (C) 〔0.32〕 (B)	▲204.14 (▲31.86)	0.09 (0.00)	0.72 (1.00)	○ (◎)

事業の効率性									
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了（R4.7.27）、都市計画決定手続き完了（R5.2.28） 									

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、浜田JCT～小月JCT（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。